

My
まっぷラン
+ (プラス)

自分の命を守るため！ 地域の未来を守るため！

一人ひとりが考え、ともに行動する！

一人ひとりの 地区の 避難計画を作しましょう

何かあったら、
役所が助けてくれ
るんですよね。

3つの★が使えます。
詳しくは裏表紙へ

難しそうなので、自分の
(My) こととして考える
あなたを、プラスは…

私の所は
大丈夫でしょうか？

プラスでは…、
マップの拡大などで

★ハザードの確認

ができます。
(右図中段のサインは順に、
津波(高潮)、崖崩れ、洪水)



できあがったら、
もう安心？

いろいろ考えても
忘れちゃう。

そういえば、
杖を使ってる
お隣さんは
大丈夫かな？

どこをって、どこへ
逃げればいいのか？

逃げ遅れたくないなあ。

…ご自宅から地区の避難する場所
へ、ハザードを避けた経路を考えた

★Myマップが作れます。

…早めの避難がポイントです。
プラスでは

★Myタイムライン

で事前の準備行動を整理します。

Myまっぷラン+ (プラス) で

概要を知るには折込中面へ
(地区の役員・作成支援者の皆様向け)

避難のお悩み なくします

計画作りのあらかしは裏表紙へ
(個人の皆様向け)

My まっぷラン+ (プラス)

で 🔍 検索

URL <https://mmrp.midimic.jp/>

《お問合わせ先》三重県・三重大学 みえ防災・減災センター

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学 地域イノベーション研究開発拠点A棟3階
TEL:059-231-5486 FAX:059-231-9954 E-mail:bosai@crc.mie-u.ac.jp

midimic
mie disaster mitigation center



Myまっぷラン+(プラス)による避難計画作成支援

地域の防災人材や市町職員と連携し、WEBでアクセスできるデジタルマップで自然災害リスクの確認や避難経路作成が可能となる「Myまっぷラン+(プラス)」により、個人の避難計画の策定から地区防災計画の策定までを支援 ※令和2年度試行。令和3年度に市町展開予定。

風水害被災地の教訓(課題)

災害の激甚化

- ハザードマップの認識
存在を知っていた 75%
うち内容を理解していた 24%
(倉敷市真備町)
- 正常化バイアスの課題
避難すべきなのにしなかった 84%
(西日本豪雨・ウェザーニューズ社)
- 要配慮者の支援
亡くなった方51人中42人が自宅1階で、うち36人は高齢者
(倉敷市真備町・『朝日新聞』)

津波避難計画作成ツール「Myまっぷラン」をバージョンアップ!

- ◆風水害・土砂災害に対応
- ◆デジタル化

地区防災計画の策定促進



何かあったら、役所が助けてくれるんですよね。

難しそうなので、自分の(My)こととして考えるあなたを、プラスはお手伝いできます。

何から始めたらよいものか。

まず、どんなおそれがあるかを確かめましょう。

Myまっぷラン+(プラス)でできること

- ### 個人の計画を作成
- Myまっぷラン+(プラス)のサイトにアクセス
- ①自宅周辺のハザードの確認
地図の拡縮・重ね合わせによる
 - ②避難経路の検討・登録
個人の注意すべき箇所の登録も可能
- 緊急連絡先や避難のタイミング(Myタイムライン)をあわせて印刷 → 家族で共有
- ### 自主防災組織などで地区の計画作成
- ③「まち歩き」結果の注意箇所を登録
 - 共有や個人の経路の集約が可能
 - ④「課題の抽出・解決策の検討」他のワークショップの進行を支援
- 訓練後の検証や経路の見直しが容易

システムによる個人の避難計画作成例

②避難経路の検討例
●自宅から★避難場所へは、ハザードの影響が少ない迂回路を避難経路に決定。
・注意すべき箇所のメモ例「崖横通過注意」

①ハザードの確認
濃色：土砂災害特別警戒区域
淡色：土砂災害警戒区域。
この図程度に拡大すれば、自宅が区域内かが容易に判断可能。

システムによる地区の計画検討例

④経路の検討例
個人の経路の集約から、避難先が、現在の市の一時避難場所である右下★と、中央★に分かれていることが判明。
⇒右下へ至る経路の浸水のおそれ・距離等から、中央★に統一することを決定。
⇒変更後に応じた安否確認訓練を実施。

③注意すべき箇所
まち歩きを経て、地区として注意すべき箇所を登録。

避難経路・Myタイムラインの作成
ハザードマップ認識(津波・風水害・土砂災害等)

地区の検討もふまえてバージョンアップ

そういえば、杖を使ってるお隣さんは大丈夫かな？

それぞれ。ご近所で考えた方がよく、プラスではそれも含めた地区の課題解決のお手伝いができます。

いろいろ考えても忘れちゃう。

一人ひとりの避難計画はシートとして印刷できます。地区で考えたことも、整理して文章にしておくといでしょう。

個人の避難計画(できあがりイメージ)

- シートその1: 家族の連絡先他を記載
※風水害版では気象情報入手方法などを追加(図は津波版)
- シートその2: 地図に、避難経路や危険なものなどを記載。地区のデータもあれば表示可能です。
- シートその3: 自宅の場所・構造・気象状態の変化に応じた行動をあらかじめ考えておきます。
※左図は避難行動判定フロー、右図は「Myタイムライン」

私の所は大丈夫でしょうか？

プラスではご自宅周辺で何が危険かについて、マップの拡大などで★ハザードの確認ができます。

どこを通過して、どこへ逃げればいいのか？

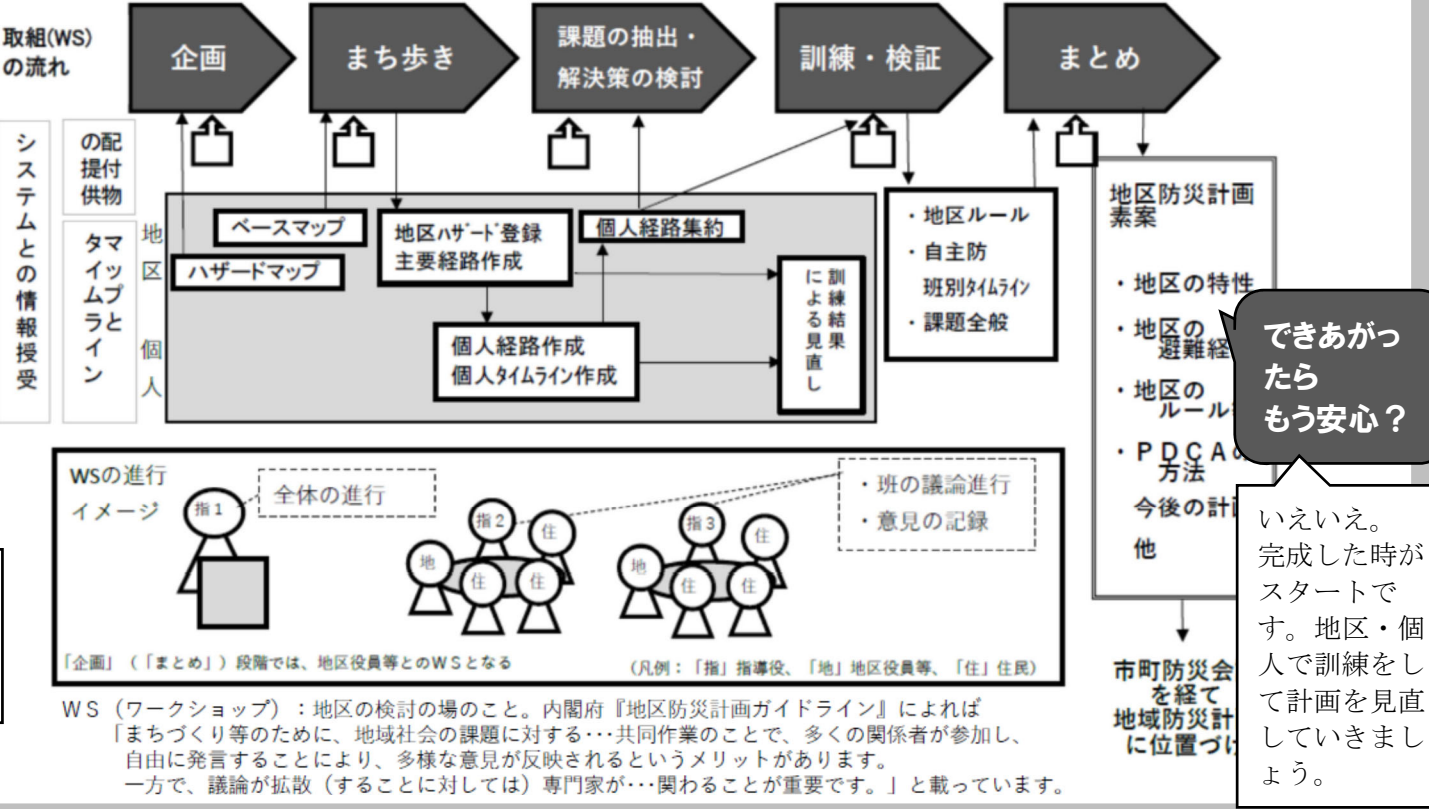
マップに気づいたことも追記して、ご自宅から地区の避難する場所へ、ハザードを避けた経路を考えた★Myマップが作れます。

逃げ遅れたくないなあ。

役所の発表や(発表がなくても)、早めの避難がポイントです。プラスでは★Myタイムラインで事前の準備行動を整理します。

左図：避難行動判定フローで避難をするかなどを検討
右図：Myタイムラインで避難までの準備を検討

地区の計画作成手順



できあがったらもう安心？

いえいえ。完成した時がスタートです。地区・個人で訓練をして計画を見直していきましょう。

